

わたしたち教師は 子どもの味方！

さいたま市立尾間木小学校 金井裕子

希望あふれるステキな新学期！
のはずが…

子どもたちとの新しい出会いに胸膨らませる新学期。そんな思いは、定年まであと数年の私も同じです。ましてや、本年度採用になられたみなさんは、尚のことでしょう。新型コロナウイルス感染防止のため、子どもたちと出会えず、今あらためて教師であることの意味や学校の役割について考えています。

子どもとつながる

始業式、ほんの少しだけ子どもたちと出会う場面がありました。数人ずつ教室に入れ、机の上に準備した教科書などをランドセルに仕舞わせます。即下校のため5分程度の時間しかありません。担任の思いを伝え子

どもとつながるために、一人ひとりに手紙を書くことに。担任の自己紹介をしながら、集めた子どもの情報を織り交せて「○○ちゃん、ピアノが得意なんですね。先生は全然弾けないので、うらやましいです。今度、聴かせてね。」程度の短い文ですが、封をして宛名を書いて、机の上に。「えっ、何これ？」「お家に帰って読んでね。」と短い会話を交わしました。

あれから1か月。子どもの家庭へ電話かけです。保護者と初めましての挨拶をして、お休みの様子や心配ことなどを聞きます。保護者も子どもも、担任の顔もよく知らないの、通りいっぺんの会話にしかありませんが、何とかして信頼関係の糸を紡いでいきます。動画配信の授業もスタートしましたが一方的なツールです。家庭の学習環境に差があり、取り組めずに課題が負担になっている子ども

もはきつというでしょう。私たちの仕事は、そんな一人ひとりを大切に、つながることから始まります。やっぱり、つながるって大切！

教師は子どもの味方！

昨年3月、政府は国連子どもの権利委員会から「あまりにも競争的な制度を含むストレスフルな学校環境から子どもを解放すること」と強い調子で勧告を受けました。新学習指導要領での英語やプログラミング教育の本格導入、授業時数の増加は、子どもたちの真の成長と発達に果たして結び付くものでしょうか。

子どもにとって学校が行きたい場所になり得ず、登校をしる子どもはどのクラスにもいるのは当然な結果です。そんな気持ちに共感し、子どもにとって大きな存在である友達とつなげてあげることも、重要な教師の役割です。

そう、いかなる時もわたしたちは子どもの味方です。そのために、語れる仲間と学ぶ時間をもちましよう。子どもの味方になろうと一生懸命なあまり、逆に子どもを追い詰めてしまっていたなんてこともあり、猛反省です。それでも諦めずに、子どもの横に寄り添って同じ景色を見続けられる教師でありたいと思うのです。

失敗こそ財産、 あなたらしさを存分に！

三郷市立南中学校 岩田彦太郎

私は、三郷市の中学校で社会科の教員をしています。今年で25年目になりました。教師1年目は1年生の副担任でした。毎日が手探りで、思いつきと勢いだけでこなしていく日々。当然うまくいかないことばかり。授業開始のチャイムが鳴ったのにはほとんどの生徒がおしゃべりを続け、結局そのまま授業を始められずに喧噪の50分が過ぎ去った、ということもありました。

2年目にはその学年で初めての担任を持ち、学年の先生方の配慮の中、自分なりにクラスづくりに取り組んで、その面白さを実感することができました。ところが続いて持ち上がった3年目に、いわゆる「学級崩壊」を引き起こします。全部で6クラスの学年でしたが、私のクラスだけが荒れに荒れ、全く無秩序な状態に。結局その「荒れ」の原因を見定めることもできずには

過ぎ、無秩序のまま卒業式を迎えることになってしまいました。あのときの自分の力のなさを思い返すと、当時のクラスの生徒たちに対して申し訳ない気持ちです。

そんな中でも、私なりに努力したと思えるのは教科の授業づくりです。クラスは大荒れでしたが、社会科の授業中には、そんな生徒でも身を乗り出してくる瞬間がありました。今振り返ると、それには二つの理由があったように思います。一つは、たくさんさんの授業実践の積み重ねに学ぶ場を持ったことです。それが歴史教育者協議会です。職場の先輩に紹介されて、1年目の夏に全国大会に参加したときの衝撃は今も忘れられません。全国からたくさんさんの先生たちがお互いの実践を持ち寄って、学び合っているのです。そこは私にとってはまさに宝の山でした。

もう一つは、ついこの前まで大学生だったということ。それは、若いという意味ではなく、教師ではなかった、という意味です。中学校は、残念ながら閉じられた場であるという側面が否定できません。学校の中だけで通用するたくさんさんの「常識」。それらは大抵、世界全体から見たら取るに足りないことに拘泥し、狭窄した視野でつくられたものが多いように思います。そんな「常識」にまだ浸かっている学生感覚で自分の経験をもとにして授業づくりをしたことが、私らしい授業につながったのだと思います。

学びの場としてもう一つ重要なことは、教職員組合に加入したこと。埼教組青年部の学習会に参加したことで、クラスが荒れた原因が見えたのです。あの学習会が、私が変わる大きな契機でした。

学校の外に出て学ぶこと、その上で、自分ならではの実践を臆せずに組み立てることが、この仕事の面白さです。新たに教職員となられたみなさんと、ともに学ぶ場を広げていけたらうれしいです。

「生徒の利益になる」と考えて

埼玉県立進修館高等学校 新井夏彦

今年度は新型コロナウイルスの流行拡大に伴う臨時休校といった異例の事態の中でスタートしたため、戸惑っておられる先生方も多いかと思います。かくいう私も教員生活はようやく2年目に入ったところであり、仕事を覚えていく最中でのこの事態です。非常に面食らっています。教職経験の浅い私としては、整理されたアドバイスといったものではなく、「去年1年を新任の教員として過ごしてみての所感」といったところをお伝えできればと思います。

私の場合は正採用されるまでの教職経験はなく、教育実習では授業を多少やらせてもらったに過ぎないので、学校の実務については素人でした。職員会議などで議題にあがっていることについて、当初は周りの先生方の理解に追いついていないと感じる場面も多々ありました。そこですべ

てをきちんと把握しなければならないとすべての資料を読み込んだりました。教科指導などにおいても同様に完全な準備をしなければならぬと考えていたものでした。

ただしいうまでもなくミスは犯すことはありましたし、授業については準備をしようが思うように展開しないことばかりでした。こうなると自信がなくなってきました。そこでさらに準備を重ねる、ということをし繰り返していました。

ただあるとき、自分がこうしているのは早く周囲の先生方に追いつかなければという思いのためではないかと考え至りました。それ自体は問題ではないと思います。しかし私がその時思ったのは、周囲の先生方に目が向いてしまっていて生徒に目が向けられていないのではないかとということ

した。教員として過ごしているとこのほか教員同士で過ごす時間が長いためつい忘れそうになりますが、「今やっている仕事が生徒のためになるか」ということに集中するほうが良いのではないかと今は思っています。

生徒の利益になる、と考えて行う教育活動が周囲の先生方と食い違うこともありうるのだと思います。それはそれで構わないのではないかと個人的には思います。どんな生徒にとっても、どんな場面でも満足のいく教育を提供できる教員がいれば結構なことですが、そうしたことはおそらくありません。自分ができる範囲で生徒のためになりそうなことをやる、というのがつまるところ教員のやることなのではないかと思っています。結果がどうあれ、その作業を積み重ねていくこと自体にやりがいはあると思います。新たに教員になられた先生方と、お互いに無理のない範囲で、生徒のためになる教育活動について考え、実践していけたらと考えています。どうぞよろしくお願いします。

「先生」は楽しいぞー！ 子どもと仲間を信じてのびのびー！

県立特別支援学校塙保己一学園（県立盲学校） 深津冬惟

「ふゆくん、私、選挙に行ってきたよー！」
2018年の春、丈の短いスカートに髪は明めの茶色で、指の先はきれいにマニキュアが塗られているその子が、職員室前で嬉々として私に報告してくれました。紆余曲折あり、通信制の高校に通うこの子も、もう18歳になったんだなあと3年前の卒業式を思い出しながら話を聞いていました。私が初めて担任したクラスの生徒でした。

中学3年生の公民の授業で、選挙について扱う際、若者の投票率が低いことを取り上げたことをその子は覚えていたらしいのです。授業が、教え子たちの生活につながっていく。先生になって良かったなと心から思いました。なにより、それを卒業しても伝えに来てくれることが嬉しかったです。先生っていい仕事でしょう？

「でもね、誰に入ればいいのかわからなかったから、とりあえず名前聞いたことある人に入れた！あははは！」

次はちゃんと調べてから行ってみようねと、話は盛り上がりしました。

現在私は、初任から8年目、県立の盲学校に勤務しています。初任から6年間は中学校に勤務していました。1年目から担任になり、緊張して迎えた4月を今でも覚えています。学級崩壊したらどうしよう。授業も、部活も心配だなあと。しかし、私は、たくさんの子ともたちと職場の同僚に支えられて、少しずつ「先生」になっていったのだと思います。当時は、日々必死で、これで本当によいか？と不安に思うことのほうが多かったです。ですから、新しく先生になったあなたも、絶対に大丈夫です。子どもと仲間を信じて、「先生」という仕

事（今）を、ぜひのびのびと楽しんでください。

私が初任の1年を終え、担任2年目の時、クラスに反抗的な子がいました。その子にちゃんと向き合えていない私がいました。ある日、その子は注意されたことでカッとなり、クラスを飛び出しました。「俺はもう終わりだー！」と叫んで。そんな彼を、私はどうしたらいいのかわかりませんでした（その子とどう向き合っていくか私がかちゃんと考えていなかったのです）。すると、隣のクラスのおばちゃん先生（みんなのお母さんの存在の先生）が飛び出してくて、廊下でその子をぐっと抱きしめて、「そんなことない！終わりじゃない！」と言ってくれたのです。泣き崩れるその子と、その先生の姿をみて、私もこんな優しい先生になりたいと強く思ったのを覚えています。

世間では、「先生」という仕事の大変さがクローズアップされることが多いです。実際、簡単ではない仕事です。それでも、子どもの成長を仲間と保護者と喜び合える素晴らしい仕事だと私は日々肌で感じています。また、明日からも、一緒にがんばりましょう！

子どもの大切な給食室

元入間市立藤沢小学校 栄養教諭 小林 淳子

「僕たちに『給食ファイブ』をやらせてください!!」突然の申し出に驚かされました。給食委員会6年生5人からの要望で、給食を自分たちの手で紹介したいという気持ちからのことでした。学校の行事や取り組みの多くは、大人の側が計画し、できるだけ子どもたちの自主的な活動を促し、創造力を育てようと願って実施しています。そんな中で、子どもたちから湧き出た「願い」に出会えることは幸運です。彼らの企画は自分たちで考えた扮装をし、給食やたべもの、お料理について紹介するものです。それをビデオに撮り、給食時間に放映しました。また、体育館のステージで劇仕立てにした舞台の演出をし、照明も担当していました。これが子どもたちの「思いと行動」に出会えた初めての出来事でした。

あるとき、歌の歌詞を小学1年生に尋ね

ました。「この歌の歌詞を覚えてほしいんだけど……」その子は踵を返し、教室に戻り歌集を持って来てくれました。普段は担任の先生を悩ませる乱暴者のやんちゃ坊主と思われている子でした。その子が私の頼みを一早く承知し、叶えてくれました。それは、先生と子どもという関係ではなく、あることについて一緒に考え、動いてくれる仲間のような気持ちになった、今も心に残る特別な感覚です。

そして、現役最後の年にまた思いがけないご褒美が待っていました。卒業を1か月後に控えた2月のある日、6年生の女子3人に呼び出されました。「私たちも卒業までに給食室に入ってみたいです!!」この唐突で嬉しい申し出に胸が熱くなりました。本校では、1年前から4年生の食育の取り組みで給食室での給食作りの仮想体験を实

施していました。しかし、彼女たち6年生は体験できずに卒業する学年だったのです。なんとか彼女たちの思いに応え、卒業式の前日というたった一日しかないチャンスに実現することになりました。彼女たちは、「おいしい給食の謎に迫る『給食室体験学習』」と題し、「6年間食べてきた給食。なぜこんなにおいしいのか。これを知らずに卒業できない。そこで、小林先生にお願いしたところ、特別に給食室潜入の許可が下りた。諸君、おいしい給食の秘密を解き明かすのだ!」と、彼女たちはワークシートを作り、6年生全員の前でプレゼンテーションしました。そして、その後わずか75分間で3クラス全員が給食室体験するというハードなスケジュールでしたが、やり遂げることができました。

これらの出来事は、川を下る舟に乗っている子どもたちに、川岸からあれこれ指図するのではなく、共にその船に乗って、子どもたちの感性に触れ、子どもたち自身が思いを実現して行くその場に立ち会えた忘れられない体験でした。

コロナ世代の教師たちへーいのちの危機と不確かさのなかで

文京学院大学教授 木村 浩則

今年度採用になったみなさん、おめでとうございます。ただそんな言葉で始めるのには躊躇があります。そう、私たちはいま世界的なパンデミックの渦の中に巻き込まれ、感染と死の恐怖、経済的危機、不確かな未来に直面しているからです。

それは学校現場においても同様です。2月27日、新型コロナウイルスの感染拡大抑制を理由に全国の学校が一斉休校になりました。それが解除されたのが6月。春休みを含めると3か月間、子どもも教師も保護者も、感染の不安を抱えながら、不自由な生活を強いられました。

みなさんも、晴れて採用試験に合格し、いよいよ教職生活スタートというタイミングで出鼻をくじかれ、混乱の中で果たして自分は教師としてやっていけるのか、そんな疑念さえ浮かんだかもしれません。

そしてようやく始まった新学期、学校は感染対策の様々な工夫をしながら、どう学びを保障するのか、模索が続いています。この新たな状況においては、新人もベテランもないかもしれません。なぜなら誰もがまったく新しい状況に対処しなければならぬのですから。

今年社会人の仲間入りをしたみなさんは、「コロナ世代」と呼ばれるかもしれません。コロナ世代の教師に求められるのは何でしょうか。

その一つは、過去のルールや慣例、前例にとらわれない柔軟性、不確かさを生き残したたかさです。ベテランは過去にしがみつきがちですが、みなさんにはその経験がない。新参者であるみなさんのアイデアやスキルが、学校に「新たな日常」を創造していく力になるかもしれません。

もう一つは、子ども観・教育観の転換です。コロナ禍のなかで私たちの誰もが、いのちの問題と向き合うことになりました。たとえ経済的な犠牲を払っても、いのちを守ることに最優先されるべきことに気づいたのです。再開された学校でも、いまは子どもたちの健康と安全を最優先に学級経営が行われていると思います。でも「遅れを取り戻せ」の声も強まることでしょう。

しかしコロナは、いのちと健康があつてこそその学びであることを私たちに気づかせました。子どもたちは様々な不安や戸惑い、ストレスの中で、この新しい日常を生きていかなければなりません。いやみなさんも、つねに不安を抱えながら子どもたちと向き合っていることでしょう。だからこそ、子どもという「いのち」と向き合い、彼らの思いに共感し、寄り添える教師になつてほしいと思います。

いのちの危機と不確かさの時代にあつて、新たな学校の日常を創造するコロナ世代の教師として、みなさんの活躍に期待します。

子どもたちとたくさん話を

埼玉総合法律事務所 弁護士 南木ゆう みなき

4月から新しい人生を歩みだされた皆様、まずはおめでとうございます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、誰しもが経験したことがなかったような事態となり、新しい生活を楽しむ余裕などなかったことでしょう。国の対策により先生方の迫られる対応も右往左往し、大変な社会人の幕開けになったことと思います。子を持つ親として、日頃のご尽力に感謝申し上げます。

さて、おそらくこの欄は、皆様方の先輩である教職の皆様からためになる声が多く寄せられていると思いますが、そんな中で私は弁護士として、皆様に少しでもお役に立てることがあればと思い執筆させていただきました。

私からのメッセージは、子どもたちと、たくさん話をしてあげて欲しいということ

です。

残念ながら、少年事件などを担当していると、家庭環境が複雑で、信用できる大人が周りおらず、居場所を求めて非行に走ってしまう子どもが多くいます。

しかし、子どもたちの話を聞いていると、特定の先生にだけ本当のことを打ち明けていたり、心を許していたりする子もいて、そんな先生は鑑別所にもよく足を運んで面会にきてくれています。先生のひよんな一言で、私に対する態度や話し方なども、数週間のうちに見違えるほど変わることができた少年もいます。

子どもの可塑性は本当に素晴らしく（大きな声では言えませんが（笑）、成人の刑事事件よりも）、少年事件は非常にやりがいを感じることができています。

そして実は、子どもたちとの年齢が近い

皆さんたちは、子どもたちにとって、とても話しやすい存在です。ぜひ、その武器を最大限活かして、子どもの声をたくさん聞いてあげてください。

また、言わずもがなですが、いわゆる「勉強」とは違って、社会に出るとどちらが正しいか決めることができないことの方が多いです。人は様々な個性を持ち、いろいろな考え方を背景に行動をしているので、表面的な事象だけをとらえてどちらかが正しいか、なんて神様でもない限り判断できません。つまり何が言いたいかというと、教育や指導にもきつと「正解」ってないのだと思います。ですので、すぐに裁定者にならずに、子どもたちの声をよく聞いてあげる過程が大事なことだと思っています。一見して間違っている子どもの主張も、背景には大きな問題が隠れていることがあります。

最後に、分からないことはすぐ先輩に尋ねましょう。最初のうちは、いろんなことを聞いて良いことになっています。新人の特権です。弁護士もよくそうだと言われますが、「教師」という職業につく方々も、人に教えるのは好きはなはずです（笑）。諸先輩方は、きつと聞いていないことまで丁寧に教えてくれることでしょう。

共に成長できる学校に

上尾市在住 井上淳子

我が家にはこの4月から中2の長男、小4の次男の二人の子がいます。コロナによる3月からの一斉休校。小学校と中学校それぞれからくる連絡メールの嵐で私の頭も大混乱。加えて次男は学童にも通っているのです。それからの連絡と、本当に子どもたちのスケジュール管理に追われた3ヶ月でした。

そんな中で新たに教職員になられた先生方もさぞかし大変だったろうと思います。

あまりにも突然の休校でしたが、よその国ではオンラインで先生とコミュニケーションをとっているとか、お隣のさいたま市ではオンライン学習を導入するなどの情報が入るたび、我が子を通う学校、教育委員会は何もしてくれないと、歯がゆい思いをしていました。ただうらやましがっていても仕方がないので、それぞれ出された課

題に長男は声かけ、次男は仕事の時間を調整して一緒に課題をやるということできなるとか乗り切りました。我が家の場合は親が仕事の都合をつけて一緒に課題をやったり学習動画を見たりということができましたが、すべての子が休校期間中、学習にしっかりと取り組めたわけではありません。我が家だって親は素人ですから、きちんと教えられているとは思えません。実際、算数のプリントでは、親子で考えた答えが間違っていたのです（笑）やはり餅は餅屋。我が子を含め休校期間中に子どもたちの中でも差が開いてしまったと思います。先生方には、どうか一人ひとりに丁寧に向き合い、学習の遅れを取り戻していただきたいと思っています。

そしていま先生方をお願いしたいのは、教室で普通に政治の話が出てくるようにし

て欲しいということ。今の小中学生が選挙権をもったときに、選挙なんて行って当たり前、投票率は70、80%が当たり前、そんな風になればいいなと思っています。いま、子どもたちは今まで以上にニュースなどで政治に触れているのではないのでしょうか。なんで一斉休校になったのか、緊急事態宣言ってなんだ、アベノマスクってなんだ、とね。YouTubeも都知事と話をする時代。自分たちの生活と政治がつながっているんだと肌で感じているはずです。

そしておかしいことはおかしいと言える人になって欲しい。教室の中でも同じですよ。コロナ禍の中進められようとした検察庁法改正案、多くの芸能人や著名人が反対の声をあげ、大きなうねりになりました。何かの物事に詳しくなくなつて、自分の考えを主張することはけして恥ずかしいことじゃない。政治家が間違っていたら、その意思表示をするのが選挙で、私たち一人ひとりにその権利があるんだと伝えて欲しい。

子どもたちにとっても先生方にとっても成長できる楽しい学校に、保護者だって協力しますよ！

生き生きと働きたい

働く

◆年次有給休暇

すべての教職員

◆生理休暇

1回の生理につき2～3日
(電話で伝えるだけでもOK)



結婚

◆結婚休暇

結婚生活に入るための諸行事をおこなうために5～7日の休暇

妊娠

◆通院休暇

妊娠中および産後1年以内に、保健指導・検診審査を受けるための休暇

◆通勤緩和休暇

妊娠中、母体の健康維持をはかるために、一日1時間以内の勤務時間の繰り上げ・繰り下げができる



出産

◆出産休暇

労基法では産前6週(多胎児14週)、産後8週。2週間の加算があります。

◆出産補助休暇

配偶者の出産にあたり、夫である男性教職員に2～3日の範囲で認められる

病気

◆病気休暇

病気休暇は、90日まで有給で取得可。



子育て

◆育児休業

子どもが3歳に達する日まで取得可能(男性も可)

◆子育て休暇

子ども1人の場合7日、2人以上は10日取得可。子どものけがや病気の看護、学校行事が対象。

介護

◆介護休暇

病気、負傷、老齢などにより2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある者の介護をおこなうための休暇。1つの継続する状態ごとに6月の期間内
※範囲/配偶者、父母、子、配偶者の父母、祖父母、孫、兄弟姉妹、事実上の父母や子



絵・島ちづる

一人で悩まず、仲間に相談を
職場のいじめ、パワハラ、セクハラ

048(824)2511 埼玉県教職員組合
048(822)7421 埼玉県高等学校教職員組合